

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数		履修上の留意点	
数学		数学Ⅲ		3			
指導目標	(1)極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。						
	(2)数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。						
	(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
教科書				副教材等		添削指導	面接指導
数学Ⅲ Standard						9回	3 単位時間
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無			☐	実施している	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし	
			☒	実施していない			
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	関数					1	6月3日
2	数列の極限					1	6月3日
3	関数の極限					1	6月3日
4	微分法、色々な関数の導関数					2	7月15日
5	微分の応用（関数の増減）					2	7月15日
6	微分の応用（微分のいろいろな応用）					2	7月15日
7	積分とその応用（不定積分）					3	12月2日
8	積分とその応用（定積分）					3	12月2日
9	積分とその応用（面積・体積・長さ）					3	12月2日
面接指導(スクーリング)							
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日
1		分数関数や無理関数のグラフや数列について理解し、更にいろいろな関数の極限を理解させる。				各学習センター	6月
2		微分について理解させる。				各学習センター	7月
3		積分について（不定積分や定積分）理解させる。それらを用いて面積・体積・長さの求め方を理解させる。				各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習							
計画段階では実施予定なし							
試験							
回数	試験範囲					実施場所	実施日
1	レポート1～5					各学習センター	9月
2	レポート6～9					各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準							
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。							
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。							
その他							
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。							